

歯を守る「フッ素」

ムシ歯予防に非常に効果的です！

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



「フッ素」は、歯磨き粉に含まれていたり、歯科医院で塗布したりする医薬品です。

歯に塗って膜を作ることによって、歯に汚れがつかないようにすれば、虫歯菌から歯を守ることができるので、虫歯予防に大きく活躍しています。

このフッ素を長期間、定期的を使用することによって、次のような「ムシ歯予防」に効果があります。

歯の質を強くする

乳歯や生えたての歯は軟らかくて弱いので、フッ素によって表面を溶けにくい性質に改良できます。

歯の修復を促進する

フッ素は、食事の後にキズついた歯にカルシウムやリンを再沈着（再石灰化）させる働きがあり、歯の修復を促進します。

酸産生を抑える

酸産生とは、細菌が（歯を溶かす働きのある）酸を作ることです。フッ素は、ムシ歯菌の働きを弱めたり、ムシ歯菌が作りだす酸の量を抑えたりします。

いつ頃から始めれば良いの？

歯は、生えたての時期ほどフッ素をよく取り込むと言われています。下の前歯に乳歯が生えてくる6～7ヶ月頃から、フッ素は可能です。

当院では、小さい頃から歯科医院に慣れていただくように、早い時期からのフッ素をお勧めしています。

フッ素はムシ歯予防に非常に効果的ですが、フッ素だけでは完全にムシ歯を予防することはできません。「正しい歯みがき」を毎日行うことや「食生活」にも気をつけましょう！

